

漁港工事における端数処理について

設計内訳書

上段(カッコ)は、従来の設計書による端数処理の方法であり金額については、新システムとの比較のためのもので実際の計算値とは一致しません。

工事名	漁港水産物供給基盤機能保全工事(〇〇防波堤)			当初	事業区分	漁港整備	主たる工種	漁港構造物工事	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
防波堤・防砂堤・導流堤			式	1		(13,881,000) 13,881,673			
海上地盤改良工			式	1		(2,114,000) 2,114,051			
床掘工			式	1		(1,768,000) 1,768,305			
グラブ床掘[港内側]			m ³	36	1,086	(39,096) 39,096			
グラブ床掘[港外側]			m ³	100	1,444	(144,400) 144,400			
水中機械床掘り[港内側]			m ³	2	14,990	(29,980) 29,980			単-〇〇号
水中機械床掘り[港外側]			m ³	2	18,777	(37,554) 37,554			単-〇〇号
人力床掘[港内側]			m ³	5	130,952	(654,760) 654,760			単-〇〇号
人力床掘[港外側]			m ³	5	172,503	(862,515) 862,515			単-〇〇号
土運船運搬工			式	1		(102,000) 102,480			
土運船運搬[港内側]			m ³	36	580	(20,880) 20,880			単-〇〇号
土運船運搬[港外側]			m ³	100	816	(81,600) 81,600			単-〇〇号

新システムでは金額については、工事区分・工種・種別・細別を円止(切捨)にいたします。

従来のシステムでは金額については、工事区分・工種・種別を千円止(切捨)細別については円止(切捨)にしていました。

設計内訳書

工事名	漁港水産物供給基盤機能保全工事 (〇〇防波堤)			当初	事業区分 漁港整備		主たる工種	漁港構造物工事		
	工事区分・工種・種別・細別			単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
継鉄筋	規格：SD345呼び径：D25長さ：L=1.0m			本	10	4,798	(47,980) 47,980			単-〇〇号
型枠				m ²	11	11,718	(128,898) 128,898			単-〇〇号
コンクリート	コンクリート配合記号：C-5P S、セメント種別：混合セメント(B種) 【生コンクリート 高炉 C-5PS 18-8-40 C=270kg】			m ³	17	20,871	(354,807) 354,807			単-真〇〇号
仮設工				式	1		(105,000) 105,244			
工食用道路工				式	1		(70,000) 70,140			
敷鉄板	22×1524×6096設置・撤去			m ²	210	334	(70,140) 70,140			単-〇〇号
作業ヤード整備工				式	1		(35,000) 35,104			
敷鉄板	22×1524×6096設置・撤去			m ²	32	1,097	(35,104) 35,104			単-〇〇号
直接工事費				式	1		(13,881,000) 13,881,673			直接工事費：円止 (切捨)
共通仮設				式	1		(3,501,000) 3,501,193			共通仮設費合計：円止 (切捨)
共通仮設費				式	1		(2,551,000) 2,551,193			共通仮設費 (積上合計分)：円止 (切捨)

設計内訳書

工事名	漁港水産物供給基盤機能保全工事（〇〇防波堤）	当 初	事業区分	漁港整備	主たる工種	漁港構造物工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
回航・えい航費		式	1		(1,660,000)			
えい航	【運転費】【損料】	回	2	830,435	1,660,870			共通仮設費（積上分）：円止（切捨）
運搬費		式	1		(682,000)			
建設機械器具等運搬		台	1		682,671			共通仮設費（積上分）：円止（切捨）
仮設材等運搬		台	1	445,791	(445,791)			
安全費		t	42	5,640	445,791			
安全対策		式	1		(236,880)			
イメージアップ経費		人日	2	5,326	236,880			
13,819,173 × 1.43%					(10,000)			
					10,652			共通仮設費（積上分）：円止（切捨）
					(10,652)			
					10,652			単-〇〇号
					(197,000)			
					197,000			イメージアップ経費：千円止（切捨）
共通仮設費（率計上）					(950,000)			
13,881,673 × 6.85%					950,000			共通仮設費（率分）：千円止（切捨）
純工事費		式	1		(17,382,000)			
					17,382,866			純工事費：円止（切捨）
現場管理費					(3,961,000)			
17,382,866 × 22.79%					3,961,000			現場管理費：千円止（切捨）
工事原価		式	1		(21,343,000)			
					21,343,866			工事原価：円止（切捨）

イメージアップの対象額は直接工事費（処分費等を除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額になります。
対象額＝13,881,673－62,500＝13,819,173円

共通仮設費の対象額は直接工事費（処分費等の占める割合、金額に応じ除く共通仮設費対象分）＋支給品費（共通仮設費対象分）＋無償貸付機械等評価額＋事業損失防止施設費＋準備に含まれる処分費になります。対象額＝13,881,673円

現場管理費の対象額は純工事費（処分費等の占める割合、金額に応じ除く現場管理費対象分）になります。対象額＝17,382,866円

設計内訳書

工事名	漁港水産物供給基盤機能保全工事（〇〇防波堤）	当 初	事業区分	漁港整備	主たる工種	漁港構造物工事		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
一般管理費等 21,343,866 × (17.36% + 0.04%)					(3,706,000) 3,706,134			一般管理費：工事価格が万円止になるように調整 円止（切捨）
工事価格		式	1		(25,050,000) 25,050,000			工事価格：万円止
消費税相当額 25,050,000 × 8%		式	1		(2,040,000) 2,004,000			
工事費計		式	1		(27,054,000) 27,054,000			
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;"> <p style="margin: 0;">21,343,866 × 17.4% = 3,713,832円 21,343,866 + 3,713,832 = 25,057,698円 一般管理費は端数処理前の工事価格の1万円未満の金額を除いた額のため 調整額を7,698円とし、一般管理費は3,713,832 - 7,698 = 3,706,134円になります。</p> </div>								

単 - ○○号

1次単価表

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
水中コンクリート	コンクリート配合記号：C-9S、セメント種別：混合セメント(B種) 【生コンクリート 高炉 C-9S (18)-15(18)-40 C=340kg】 【生コンクリート 混合B種(A E減水剤) C-9S 18-15-40 C=340kg】	単位	m ³	190	38,373	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 単価数量当り単価：円止（切捨） （土木工事のように有効数字4桁にしません。） </div>
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
水中コンクリート打設（ケーシング打設）	設計日当打設量 = 50m ³ 未満：陸上クレーン類計上の有無 = 無し：海上クレーン類計上の有無 = 有り：海上クレーン類の種類 = 起重機船（非航旋回）：起重機船（非航旋回）の規格 = 鋼D 25t吊：引船の規格 = 鋼D 300PS型： 【生コンクリート 高炉 C-9S (18)-15(18)-40 C=340kg】	m ³	93	33,741	3,137,913	D○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号
ケーシング損料	施工区分 = 海上：サイクル数 = 2回：ケーシング延長 = 8m：	式	1	98,176	98,176	DH○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号
水中コンクリート打設（ケーシング打設）	設計日当打設量 = 50m ³ 未満：陸上クレーン類計上の有無 = 無し：海上クレーン類計上の有無 = 有り：海上クレーン類の種類 = 起重機船（非航旋回）：起重機船（非航旋回）の規格 = 鋼D 25t吊：引船の規格 = 鋼D 300PS型： 【生コンクリート 混合B種(A E減水剤) C-9S 18-15-40 C=340kg】	m ³	97	37,199	3,608,303	DH○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号
ケーシング損料	施工区分 = 海上：サイクル数 = 3回：ケーシング延長 = 8m：	式	1	196,352	196,352	DH○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号
配管設置撤去	施工区分 = 陸上施工：	m	222	710.1	157,642	DH○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号

数量 × 単価：円止（切捨）

1次単価表

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
水中コンクリート	コンクリート配合記号：C-9S、セメント種別：混合セメント(B種) 【生コンクリート 高炉 C-9S (18)-15(18)-40 C=340kg 】【生コンクリート 混合B種 (A E 減水剤) C-9S 18-15-40 C=340kg 】	m ³	190		38,373	
配管損料		式	1	92,590	92,590	WYB00014 管理費区分 無 単 - 61号
計					7,290,954	
単価					38,373	円 / m ³

単位数量当り単価：円止 (切捨)
 $7,290,954 / 190 = 38,373.44$

参考資料 (1)

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
水中部コンクリート取り壊し	有り 有り 無筋 平均厚さ 30cm未満 普通	m3	19.1	18,777		
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 単価数量当り単価：円止 (切捨) (有効数字4桁にしません) </div>						
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.82	人	1	18,800	18,800	R○○○○ 管理費区分 無 割増率 0% 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.908	人	2	13,800	27,600	R○○○○ 管理費区分 無 割増率 0% 二省労務単価
<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 数量×単価：円止 (切捨) </div>						
大型ブレーカー (排出ガス対策型 1次基準値) 1300kg級		日	1	67,312	67,312	DH○○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号
台船 鋼200t積	運転・供用の指定 = 運転1日当り：	日	1	127,580	127,580	DHT○○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号
引船 鋼D 250PS型	運転・供用の指定 = 運転1日当り：運転時間の指定 = 標準：運転日当りの運転時間 = 2時間：就業時間 = 8時間：	日	1	113,711	113,711	DHT○○○○○○○ 管理費区分 無 単 - ○○号

参考資料(1)

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
水中部コンクリート取り壊し	有り 有り 無筋 平均厚さ 30cm未満 普通	m3		19.1		18,777
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
チゼル損耗費	4%	式	1		1,856	ZS7○○○○○○○ 管理費区分 無
雑材料	0.5%	%	1		1,784	ZS7○○○○○○○ 管理費区分 無
計					358,643	
単価					18,777	円 / m3
漁港、漁港海岸用に作成されている歩掛は、有効数字4桁の端数処理をおこなわないため、諸雑費（まるめ）は計上しません。（主にDH○○○○○○○の歩掛）						

参考資料 (1)

単価適用年月	20160104
歩掛適用年月	20160104
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋工市場単価	SD345 D16~25 一般構造物 10t未満 無 無 無 無 補正無 (鉄筋割合10%未満含む) 差筋及び 杭頭処理	t	1		130,800	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> 単位数量当り単価：円止 (切捨) (有効数字 4 桁にしません) </div>
鉄筋コンクリート用棒鋼	SD345 D16~25 車上渡し	t	1.03	66,000	67,980	Z○○○○○○ 管理費区分 無 刊行物単価
鉄筋工 加工・組立共	差筋及び杭頭処理 手間のみ	t	1	62,818.75	62,818	Q○○○○○○○○ 管理費区分 無 刊行物単価
諸雑費 (まるめ)		式	1		2	ZS○○○○○○ 管理費区分 無
計	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 漁港、漁港海岸の設計書の中で土木の歩掛を使用する場合は、土木のルールにより諸雑費 (まるめ) を計上し、合計が、有効数字 4 桁になるよう端数処理をしています。(主にWB○○○○○○の歩掛) </div>				130,800	
単価	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> 単位数量当り単価は、漁港の端数処理とし、円止 (切捨) とします。 </div>				130,800	円 / t
<div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> 例) 上記の例で、仮に数量が1,000t当りの単価が130,800円とすると、土木では、単位数量当り単価は、130.8円になりますが、漁港の場合は130円になります。 </div>						